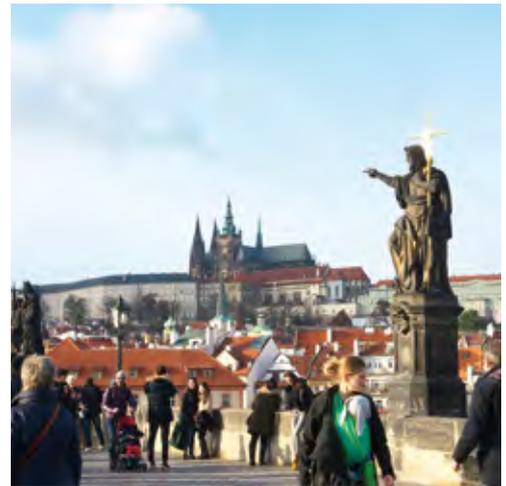




第42回ジャパンウィーク® 2017年

チェコ・プラハ

2017年11月18日(土)~23日(木)



## ご挨拶

ジャパンウィーク 2017 年チェコ・プラハは初めて同都市 2 回目、また、日本とチェコ両国間の国交回復 60 周年という記念年に開催されました。2002 年にプラハでジャパンウィークが開催された時、日本に興味を持つ多数の市民が来場したことが記憶にあり、プラハには好印象を持っておりました。時を経て 2002 年当時より高度情報化社会になりバーチャルで日本を知ることができるようになり、来場者数の減少を危惧しておりましたが、そのような事は杞憂に終わりました。終了してみればプラハジャパンウィークは、11 月 18 日から 23 日までの 6 日間開催され、日本から 77 団体 1,300 名、チェコから 1 団体 50 名、来場者数約 40,000 人と前回は上回り、前回以上に市民レベルでの双方向の交流の輪が広がったかと思えます。両国の皆様におかれましては、ジャパンウィークを通じこの度の交流事業が今後の懸け橋になれば幸いです。最後に、日本全国からジャパンウィークの趣旨に賛同いただいた参加者の皆様、そして、現地プラハ市はじめ関係各所皆様の御協力により第 42 回ジャパンウィーク 2017 年チェコ・プラハが開催できたことに深く感謝申し上げます。

## イベント概要

開催地	チェコ共和国 プラハ市
開催期間	2017 年 11 月 18 日(土)～11 月 23 日(木)
開催規模	日本側参加者 1,300 人 チェコ側参加者 50 人 見学者約 40,000 人
主催	公益財団法人 国際親善協会
後援	在チェコ日本国大使館、国土交通省、文部科学省、駐日チェコ共和国大使館、チェコ政府観光局、日本政府観光局 (JNTO)、プラハ市観光局、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構 (JETRO)、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、一般社団法人日本海外協会
助成	公益財団法人 双日国際交流財団
協賛	日本航空株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社みずほ銀行、西日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行

## 役員名簿

### 日本側実行委員会

実行委員長	愛知 和男	元衆議院議員/公益財団法人 国際親善協会 会長
名誉顧問	嶋崎 郁	在チェコ日本国大使館 特命全権大使
理事	岡本 保	一般財団法人 自治体国際化協会 理事長/公益財団法人 国際親善協会 評議員
理事	今村 忠雄	一般社団法人 日本海外協会 会長/公益財団法人 国際親善協会 評議員
理事	来島 達夫	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長兼執行役員
理事	二宮 雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代表取締役会長/公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	柏 頼之	日本航空株式会社 執行役員/公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	堀坂 明弘	株式会社日本旅行 代表取締役社長/公益財団法人 国際親善協会 理事
事務局長	若林 幸宏	公益財団法人 国際親善協会 常務理事

(順不同)

### プラハ側実行委員会

実行委員長	Adriana Krnáčová (アドリアナ・クルナーチョヴァー)	プラハ市長
理事	Jan Wolf (ヤン・ヴォルフ)	プラハ市参事/副市長
理事	Petr Slepicka (ペトル・ソレピチュカ)	プラハ市観光局 CEO

## 参加団体一覧

都道府県	団体名/カテゴリー
北海道	端唄花季会 北海道支部/端唄 有限会社ネイルズエイチツー/ネイルサービス・ネイルチップの展示
宮城県	ヒロシ&テー坊/ギター演奏と歌 岩間 義尚/金継ぎ
岩手県	株式会社 南部美人/日本酒展示・試飲 岩手大学民俗芸能サークルばっけ/民俗芸能
新潟県	白瀧酒造 株式会社/日本酒展示・試飲 長岡市/錦鯉
栃木県	岩橋知子押し花教室/押し花
千葉県	あさひ舞い ライブセラピージャパン/気の舞い
茨城県	楽知会/茶道
群馬県	大川 春雪/いけばな
埼玉県	長沼静きもの学院熊谷校/和装着付け 水引の音色/みずひき 北西酒造 株式会社/日本酒の展示・試飲
東京都	きものレディ着付学院/きもの着付けショー 早稲田大学"踊り侍"/よさこい REIKO & NAOMI /ピアノ・フルート・ギター xiè /詩吟とコンピューターサウンドの融合 全日本婚礼美容家協会/和装着付け 剣伎衆かむみ/殺陣パフォーマンス 小林 未郁/ピアノ弾語り 株式会社 アートクロス/美術品展示 一般社団法人 日本ダイバーシティアート学会/絵画展示・絵画共同制作ワークショップ 和紙ちぎり絵 鈴美会/ちぎり絵 アトリエ双香/いけばな 赤坂なでしこ会/木目込人形 株式会社 ポブラ社/本の展示、ぬりえなど 株式会社 ホビージャパン/フィギュア・アニメキャラクターの展示 表千家茶道花乃会教室/茶道 草遊会/茶道 松和会/茶道 2017年ブランドウ・ジャパン 海外セミナー /見学
神奈川県	ORIENTARHYTHM /プロジェクトライブ クロシェットローズ/陶磁器 茶道グループ 泉/茶道
富山県	総合カレッジSEO /舞台：琴・着付・日舞、展示：生花・料理・着付け・茶道
福井県	福井おむすび同好会/おむすび
長野県	結音の会 with 彩音姫ななせ/箏曲 TOKARA /和太鼓 松本きもの研究会/着物ショー MOCCA /木のオカリナ 樹音の演奏 伊那市そば打ち名人会(伊那信州そば振興会) /信州そば手打ち・試食 越後の女・ふたり語り/語り
岐阜県	ノロ燐/絵画

都道府県	団体名/カテゴリー
静岡県	専門学校 ルネサンス・デザイン アカデミー/似顔絵・デジタルイラスト実演など 煎茶道静風流/茶道
愛知県	太鼓衆 翔鼓/和太鼓 巴栄会/琴 師勝太鼓「鼓つつ」/和太鼓 箏曲寿都音会/琴 金城学院大学書道部/書道パフォーマンス 愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ/オーケストラ 名西文化服装学院/展示(オリジナル着物等) 名古屋を考える美術家の会代表/日本画
滋賀県	カラーガードサークル LUSTER /カラーガード
奈良県	千寿/展示(刺繍イラスト)
京都府	立命館大学多国籍音楽サークル出前ちんどん/ちんどん演奏 アトリエ パッチワーク/わら細工・はたき作り
大阪府	和萌会/日本舞踊 人形劇団くりきんとん/人形劇 西日本友好親善訪問団/交流
兵庫県	ヴァイオリン忍者 幽兵/ヴァイオリン演奏しながらの忍者パフォーマンス 坂本七海男鉛筆画鉛遊くらぶ/鉛筆画
鳥取県	KEIKO * 萬桂/舞書
香川県	藤登会/日本舞踊
愛媛県	松山大学邦楽部/箏、十七絃 松山大学書道部「南風会」/書道
福岡県	日旅連 九州連合会/浴衣の着付け
長崎県	DEJIMA33会/いけばな
熊本県	熊本県立大学 国際倶楽部/書道
鹿児島県	日本伝統文化学院 花の会/フラワーアレンジメント
沖縄県	八重山古典音楽研究会/古典音楽(歌・三線)
チェコ	Czech Technical University /オーケストラ
その他	見学4団体

合計 78 団体、1,350 名 (うちチェコ 1 団体・50 名)

## ジャパンウィーク運営組織について

当事業は日本・チェコ両国に各々実行委員会を組織し、日本側は愛知和男公益財団法人国際親善協会長が実行委員長を務め、チェコ側はアドリアナ・クルナー・チョヴァーブラハ市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと、開催会場・施設の決定や告知PR活動・イベントの取り纏めなどを推し進めた。特に開催会場・施設については各実施予定プログラムの主旨をブラハ市に理解していただき、主なイベント会場を市の中心部にご用意頂いた。

日本より都合5回に亘る現地打ち合わせ、一年以上に亘る日々の情報交換・諸々の折衝を行い相互の協力体制を着々と築き上げ成功へのステップを確実なものにしていった。

日本側では2016年の秋より全国に招致活動・告知活動を開始し、並行して関係資料の作成・説明会の実施などを行い、参加団体応募の後は各団体と参加プログラム、荷物の輸送の打ち合わせ、各公式行事やイベントプログラムのアレンジなど数多くの業務をこなしてきた。



## 各イベントプログラム

11月18日(土)の13:00より旧市街広場での特設ステージにてジャパンウィークの幕があけた。当日の16:30からはブラハ市が日本の参加者を歓迎するウェルカムレセプションがゾフイン宮殿にて実施された。ウェルカムレセプション終了後の夜から舞台公演がブラハ・コンGRESセンターのフォーラムホールにてスタートし、23日(木)まで毎日開催された。また19日(日)はスメタナホールにおいても舞台公演が催された。展示・実演は19日(日)のリボンカッティングセレモニーに始まり、舞台公演会場と同じブラハ・コンGRESセンターのサウスホール、テラス1および2にて実施された。また、同会場内のミーティングホールVにて20日(月)には語り、23日(木)には人形劇が催された。交流プログラムの学校訪問については12団体、老人ホームは3団体、テーマ別の交流プログラムについては3団体が参加し、各団体ともに心のこもった草の根交流に感激していただいた。毎年参加いただいている西日本友好親善訪問団は、交流イベントおよびブラハナイトにて大いに親善交流の輪を広げていただいた。



## 在チェコ日本国大使館のご協力とボランティアの活躍

特に今回のジャパンウィークが大盛況に終えることができたのはひとえに公式行事にご臨席を賜りました在チェコ日本国大使館嶋崎特命全権大使をはじめ大使館の皆様のご協力による賜物であります。また、今回も数多くのボランティアの方々に協力して頂きました。

ジャパンウィークスタッフの一員として朝早くから夜遅くまで本当に頑張って頂きました。

ボランティアの方々の協力無くして、ジャパンウィークの成功はありえなかったと言っても過言ではありません。



## スタッフおよびご協力いただいた方々

ブラハでのジャパンウィーク開催が決定してからイベントが終了するまで、以下の方々には実務上のさめこまやかな打ち合わせと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィークを成功へと導いた。

< City of Prague >    < チェコ日本人会 >    < コーディネーター >  
Ms. Jana Berková    森 正浩 様    Mr. Vít Špišek



## 広報・告知について

### メディアでのプロモーション

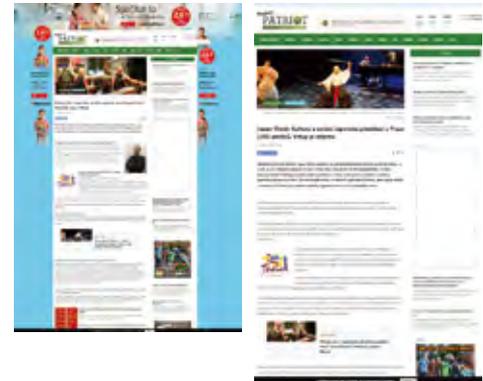
- 1 プラハ市専用 Web サイトでのジャパンウィーク PR
- 2 プラハ市運営の Facebook および Twitter によるジャパンウィーク PR
- 3 プラハツーリストインフォメーションセンターでの PR  
インフォメーションセンターによるイベント紹介欄にて PR
- 4 チェコ観光局の Web サイトでのジャパンウィーク PR
- 5 プラハ市運営によるオンライン新聞、「プラハパトリオット」での  
ジャパンウィーク記事の掲載
- 6 プラハ市運営によるテレビ局「プラハ TV」でジャパンウィークについて  
放映

### プラハ市によるジャパンウィークの「記者会見」を 11月9日に実施

- 1 記者会見当日のプラハ市幹部によるジャパンウィークの説明と動画で  
のご案内
- 2 記者会見後、各種メディアでの記者会見の記事放送、および掲載
  - ・ラジオ局 "Radiozunal" (11月16日)
  - ・ラジオ局 "Radio City" (11月18日)
  - ・ラジオ局 "Regina" (11月21日)
  - ・地下鉄フリー新聞 "Metro" (11月10日)
  - ・新聞 "Denik" (11月11日)
  - ・新聞 "Mlada Fronta Dnes" (11月16日)
  - ・新聞 "Blesk" (11月17日、19日、21日)
  - ・オンライン新聞 "24zpravy" (11月19日)
  - ・オンライン新聞 "Informuji.cz" (11月22日)

### PR ツール作成及びその配布

- 1 バスおよびトラム車内でのポスター  
11月6日から19日の間、プラハ市内で運行するバスおよびトラムの半分の車  
両に2700枚を掲出
- 2 CLV ポスター  
プラハ市内各要所に9月12日から10月23日の間、30か所掲示
- 3 RLB ポスター  
プラハ市内各要所に8月29日から10月23日の間、30か所掲示
- 4 ポスターおよび動画  
プラハ市役所の建物入口にて、A1サイズのポスターおよび動画を10月31日か  
ら11月23日まで掲示
- 5 プラハ市インフォメーションセンターでの PR  
インフォメーションセンター内での、LCD スクリーンでのジャパンウィークポ  
スターおよび動画による PR



# オープニングフェスティバル

Opening festival



- 日時** 2017年11月18日(土)
- 第1部 13:00～14:00 パフォーマンス  
 第2部 14:00～14:30 セレモニー  
 第3部 14:30～15:30 パフォーマンス

**場所** プラハ旧市街広場特設ステージ

**観客数** 約7,000名(屋内および屋外)

**日本側** 愛知 和男【実行委員長】  
 嶋崎 郁【名誉顧問】  
 二宮 雅也【理事】  
 柏 頼之【理事】  
 小谷野 悦光【株式会社日本旅行 代表取締役専務取締役・理事代行】  
 若林 幸宏【事務局長】

**チェコ側** Adriana Krnáčová【実行委員長】  
 Jan Wolf【理事】  
 Petr Slepicka【理事】

**参加者** 第1部…師勝太鼓「鼓っつ」・金城学院大学書道部  
 立命館大学多国籍音楽サークル 出前ちんどん  
 カラーガードサークル LUSTER・  
 ORIENTARHYTHM・TOKARA  
 第3部…全日本婚礼美容家協会・TOKARA・剣伎衆かむゐ  
 早稲田大学“踊り侍”・太鼓衆 翔鼓

## <第1部>

危ぶまれた天候も影響なく、曇り空であったが、師勝太鼓「鼓っつ」によるオープニングにふさわしい威勢のよい和太鼓演奏によって今年のジャパンウィークがスタート。金城学院大学書道部のリズム感あふれる書道パフォーマンス、思わず微笑む立命館大学多国籍音楽サークル出前ちんどんの音楽演奏と口上に続き、カラーガードサークル LUSTER のテンポのあるパフォーマンス、ORIENTARHYTHM 3名の切れのある演舞に盛大な拍手が沸き起こった。そして TOKARA の力強い和太鼓演奏でオープニングフェスティバルの第1部を締めくくった。

## <第2部>

TOKARA による迫力ある和太鼓演奏直後に、司会者が登壇し、両国の実行委員会の出席者を紹介後、スピーチが行われた。アドリアナ・クルナーチョヴァー プラハ市長、ヤン・ヴォルフ プラハ市参事、嶋崎郁 特命全権大使のスピーチと続き、最後に愛知和男会長がジャパンウィーク開幕の開会宣言を行った。

## <第3部>

開会宣言の後のパフォーマンスが始まる前に全日本婚礼美容家協会の代表が着物・紋付袴で登場し、その夜に催される着物ショーの宣伝・告知を行った。そして突然の侍登場、剣伎衆かむゐの剣伎ショーには大きな拍手が鳴り止まず、早稲田大学“踊り侍”総勢53名のよさこいソーランのエネルギー溢れる群舞に客席は酔いしれ、歓声がとびかった。最後は太鼓衆 翔鼓、大人数で打つ迫力のある太鼓のリズムに客席は大いに盛り上がった。大成功を予感させるに十分なすばらしいオープニングフェスティバルだった。





## ウェルカムレセプション

Welcome reception



**日時** 2017年11月18日(土) 16:30～18:00

**場所** ゴッティン宮殿

**参加団体** 48団体(参加証書授与団体数)

**日本側** 愛知 和男【実行委員長】 嶋崎 郁【名誉顧問】 二宮 雅也【理事】  
柏 頼之【理事】 小谷野 悦光【株式会社日本旅行 代表取締役専務取締役・理事代行】  
若林 幸宏【事務局長】

**チェコ側** Jan Wolf【理事】 Petr Slepicka【理事】

ウェルカムレセプションの受付が始まると、プラハ市の消防楽隊グループがジャズ音楽を奏でる中、両国の実行委員会メンバーが会場入口にて日本からの参加者を出迎えた。そして一人一人にドリンクが手渡された。とても明るく楽しい雰囲気でのウェルカムレセプションの準備が整った。

最初に両国実行委員会メンバーの紹介があり、ヤン・ヴォルフプラハ市参事の歓迎の挨拶でスタートし、その後、嶋崎郁特命全権大使、愛知会長によるスピーチと続いた。

そして、ヤン・ヴォルフプラハ市参事と愛知会長とのプレゼント交換終了後、両国の実行委員会メンバーは酒樽の鏡開きを行い、再びドリンクを手にした参加者一同と乾杯した。セレモニーの最後として参加団体の代表はステージに上がっていただき、ヤン・ヴォルフプラハ市参事、嶋崎郁特命全権大使、愛知会長によって参加証書が手渡された。

参加証書授与終了後、楽隊グループが音楽を再び奏でて参加者はプラハ市にご用意いただいたドリンクやカナッペ等を楽しみ、歓談のひとつきを過ごした。ジャパンウィークの公式行事として、とても楽しく華やかなプログラムであった。

# 舞台公演

Stage performance

2か所にて舞台公演が行われた。プラハコンgresセンターフォーラムホールでは11月18日(土)～23日(木)の期間毎日、市民会館・スメタナホールにては11月19日のみ舞台公演が実施された。舞台公演の事前予約は10月中旬からスタートし、舞台公演が実際にスタートする前には万全の準備が整った。各参加団体は演技終了後、感動と感激に満ち溢れ、このイベントの成功を確認することができた。ほぼ満員の観客は十分に楽しんでいただき、舞台公演は大成功であった。プラハ市民に感謝します。

**観客総数** プラハコンgresセンター フォーラムホール  
11月18日～23日…4,400名  
市民会館・スメタナホール  
11月19日…700名



**日時** 2017年11月18日(土) 18:30～21:30

**場所** プラハコンgresセンター フォーラムホール

**参加者** 全日本婚礼美容家協会、師勝太鼓「鼓っつ」、八重山古典音楽研究会、結音の会 with 彩音姫ななせ、立命館大学多国籍音楽サークル出前ちんどん、剣伎衆かむゐ、TOKARA

舞台公演初日は、映像を交え日本の四季に織り込まれたセレモニーを優雅に構成した全日本婚礼美容家協会の着物ショーで幕を開けた。プラハの若い女性がモデルの大部分をつとめ、きらびやかなショーで客席を魅了した。続いて、和気あいあいとした演奏スタイルの師勝太鼓「鼓っつ」による和太鼓の演奏、八重山古典音楽研究会による沖縄・八重山諸島の映像をバックに独特な琉球古典民謡の唄と三線の演奏の披露と続いた。休憩後は、結音の会 with 彩音姫ななせのきらびやかな和の洋の琴の演奏で始まり、立命館大学多国籍音楽サークル出前ちんどんによる陽気な演奏で会場は和やかなムードになった。続いては剣伎衆かむゐによるスペクタクルショー。お客様を舞台に上げての体験コーナーもあり、会場は一振りごとの剣さばきに釘付けとなった。最後は TOKARA によるダイナミックで切れの良い和太鼓のリズムに、会場から割れんばかりの拍手と喝采を浴び初日の幕を閉じた。

**日時** 2017年11月19日(日) 16:00～19:00

**場所** プラハコンgresセンター フォーラムホール

**参加者** 総合カレッジ SEO、早稲田大学“踊り侍” カラーガードサークル LUSTER、金城学院大学書道部、長沼静きもの学院熊谷校、太鼓衆 翔鼓

舞台公演二日目は、総合カレッジ SEO による琴とピアノによる美しいメロディー演奏と、古典的日本舞踊の二本立てで幕を開けた。ここからは、3大学によるパフォーマンスである。最初は早稲田大学“踊り侍”。総勢53名によるダイナミックでアップテンポな迫力のよさこいソーラン踊り、続いては立命館大学カラーガードサークル LUSTER が息の合ったリズムカルでダイナミックな演技を披露した。休憩をはさみ、金城学院大学書道部の書道ガールズによるリズムカルな書道パフォーマンスである。書き上がった作品を披露し、会場から感動の拍手が上がった。続いて長沼静きもの学院熊谷校によるプラハの若い女性と女の子をモデルに起用しての着物ショー、十二単の荘厳な衣装も披露し来場者の目を釘づけにした。最後は太鼓衆 翔鼓による迫力ある和太鼓の演奏で客席を魅了し締めくくった。

日時	2017年11月19日(日) 19:30～21:50
場所	市民会館・スメタナホール
参加者	愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ、 岩手大学民俗芸能サークルばっけ、 ORIENTARHYTHM、早稲田大学“踊り侍”、TOKARA

誰もがあこがれを持つスメタナホールでの公演。最初の演目は、愛知淑徳大学ウィンドオーケストラと、地元プラハにあるCTU (Czech Technical University) 関係の選抜メンバーが加わっての合同演奏。前日と当日数時間のみのリハーサルにも関わらず、素晴らしい息の合った演奏を聴かせてくれた。休憩をはさんで、岩手大学民俗芸能サークルばっけがどこかなつかしいが見事に振り合ったさんさ踊りを披露。そしてORIENTARHYTHMによるコンテンポラリーダンスの披露。短い時間であったがとてもキレのあるダンスを披露した。続いて早稲田大学“踊り侍”の総勢53名のエネルギー溢れるよさこいソーラン踊りに、客席からは大きな拍手が送られた。そして最後はTOKARAの和太鼓演奏、リズム感あふれたパワフルな演奏に観客はスタンディングオベーション。拍手と歓声の中スメタナホールの幕は降りた。観客、そして出演者は十分に楽しんで、大満足だったと感じた。

日時	2017年11月21日(火) 19:00～21:30
場所	プラハコングレスセンター フォーラムホール
参加者	ORIENTARHYTHM、藤登会、 巴栄会、xiè、端唄花季会 北海道支部、 ヒロシ&テー坊

昨日に続きORIENTARHYTHMによるキレのあるパフォーマンスで幕を開けた。続いて「お祭り」をテーマにした藤登会によるとても「イキな」舞踊、巴栄会の琴の華麗な演奏に観客は聴き入った。休憩をはさみ、xièがコンピュータープログラムとキーボードを駆使した新しいかたちの詩吟と舞踊のパフォーマンスを披露した。そして端唄花季会 北海道支部による200年前前から続く庶民の唄、端唄と三味線の演奏曲に観客は聴き入った。最後はヒロシ&テー坊のお二人によるギターデュオの演奏。素朴な歌声と客席を巻き込んだチェコ語の披露に観客はスタンディングオベーションで惜しみない拍手を送った。

日時	2017年11月23日(木) 19:00～21:30
場所	プラハコングレスセンター フォーラムホール
参加者	松山大学邦楽部、あさひ舞いライブセラピージャパン、REIKO & NAOMI、xiè、ヴァイオリン忍者 幽兵、TOKARA、 剣伎衆かむむ featuring 小林未郁

舞台公演そして2017 ジャパンウィーク最終日。満員の客席を前に、松山大学邦楽部が、箏と十七絃によるオリジナル作品を披露した。繊細なタッチで美しい音色で奏でられる作品に客席からは惜しみない拍手が続いた。続いて、あさひ舞いライブセラピージャパンが「気」をテーマに健康と幸福を祈る舞を披露した。そしてREIKO & NAOMIがフルート・ピアノ・アコースティックギターの微笑ましいアンサンブル演奏を披露し、続いてxièがコンピュータープログラムとキーボードを駆使した新しい形の不思議な魅力あふれる詩吟と舞踊のパフォーマンスを披露した。休憩後、ヴァイオリン忍者 幽兵によるエレキヴァイオリンを駆使した忍者パフォーマンスが登場。きちっとした演奏を伴った殺陣やアクションに観客は魅了された。次にTOKARAによる迫力あふれる和太鼓の演奏を堪能した後、今年の最後を締めくくったのは、小林未郁のオリジナル楽曲によるピアノ弾き語りを行った剣伎衆かむむのパフォーマンス。小林未郁の繊細な時には力強いタッチのピアノ演奏とのびのある澄んだ歌声をバックに、剣伎衆かむむの剣にこだわったストーリーと武術で、観客を魅了し、スタンディングオベーションの惜しみない拍手の中、舞台公演6日間の幕を閉じた。

日時	2017年11月20日(月) 19:00～21:30
場所	プラハコングレスセンター フォーラムホール
参加者	ORIENTARHYTHM、箏曲寿都音会、 MOCCA、きものレディ着付学院、 和萌会、岩手大学民俗芸能サークルばっけ

舞台公演三日目は、ビデオマッピングとマンチャクを使用したダンスを組み合わせたORIENTARHYTHMによる質の高いパフォーマンスで幕を開けた。お客様参加の体験コーナーもあり、会場は大いに沸いた。続いて箏曲寿都音会のお二人による琴の美しい音色の演奏、MOCCAの姉妹ユニットが木のオカリナ「樹・音」による心に響く透き通ったアコースティック演奏を披露した。休憩をはさみ、きものレディ着付学院による「和のこころ」をテーマにした華麗な「きつけ舞」ではじまり、和萌会の凛とした日本舞踊と続いた。いずれも客席を魅了し感嘆の拍手が沸いた。最後は岩手大学民俗芸能サークルばっけが、岩手県の郷土芸能三本柳さんさ踊りの素朴でリズムカルな輪踊りを披露し、鳴り止まぬ拍手の中幕を閉じた。

日時	2017年11月22日(水) 19:00～21:30
場所	プラハコングレスセンター フォーラムホール
参加者	KEiKO*萬桂、巴栄会、 TOKARA、松本きもの研究会、 REIKO & NAOMI、小林未郁

舞台公演五日目は、KEiKO\*萬桂の舞書パフォーマンスで幕を開けた。鬼気こもる所作や、インスピレーションによる舞書の表現に観客は固唾をのんで見入った。舞台転換後、巴栄会がきれいな音色の琴演奏を披露し、TOKARAがダイナミックな和太鼓の演奏を披露した。その後休憩に入り、観客は、舞台のそでロビーに展示されたKEiKO\*萬桂の書き上げた屏風の作品に見入った。後半は、松本きもの研究会が、息の合った着物ショーを披露した。続いては、REIKO & NAOMIによるフルート・ピアノ・アコースティックギターのほっとするアンサンブル演奏が披露された。最後は、シンガーソングライター小林未郁がオリジナル楽曲によるピアノ弾き語り。繊細なタッチのピアノ演奏と、のびのある澄んだ歌声で、観客を魅了し大喝采を受け幕が閉じた。



全日本婚礼美容家協会



師勝太鼓「鼓っつ」



八重山古典音楽研究会



結音の会 with 彩音姫ななせ



立命館大学多国籍音楽サークル出前ちんどん



劔伎衆かむろ



TOKARA



総合カレッジ SEO



早稲田大学 "踊り侍"



カラーガードサークル LUSTER



金城学院大学書道部



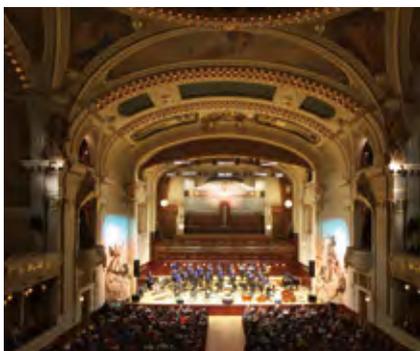
長沼静きもの学院熊谷校



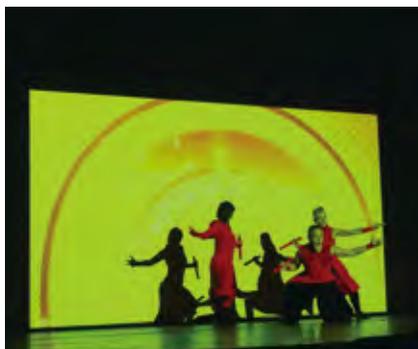
太鼓衆 翔鼓



愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ



ORIENTARHYTHM



箏曲寿都音会



MOCCA



きものレディ着付学院



和萌会



岩手大学民俗芸能サークルばっけ



藤登会



巴栄会



xiè



端唄花季会 北海道支部



### ヒロシ&テー坊



### KEiKO \* 萬桂



### 松本きもの研究会



### REiKO & NAOMi



小林 未郁



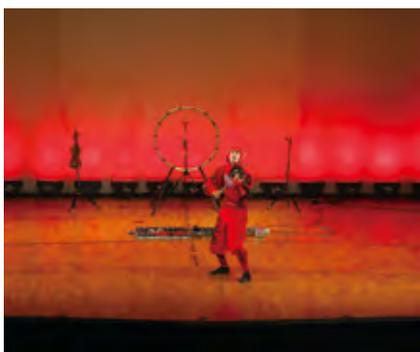
松山大学邦楽部



あさひ舞い ライブセラピージャパン



ヴァイオリン忍者 幽兵



# 展示・実演

Exhibition and demonstration

**日時** 2017年11月19日(日)～23日(木)

**場所** プラハコングレスセンター サウスホール および テラス1&2

プラハコングレスセンター内サウスホールおよび同センター内テラス1および2を展示会場として開催した。5日間の日程で実施し、平日・週末ともに数多くの来場者が訪れた。

特に初日のサウスホール内の展示会場は来場者がすれ違うことが大変なくらいに盛況ぶりであった。絵画等の作品をはじめ、日本酒・寿司やそばなどの和食、ネイルアート、アニメ・漫画などの現代カルチャーなど、様々な分野の日本の文化を体感できるイベントとなった。また、茶道実演の初日は2会場で同時開催、以後1日1団体づつ実演し、各日ほぼ満席で大変好評であった。

**観客総数** プラハコングレスセンター サウスホール および テラス1&2  
11月19日～23日…22,000名



# リボンカッティングセレモニー

Ribbon cut ceremony

**日時** 2017年11月19日(日) 11:00～11:30

**場所** プラハコングレスセンター サウスホール

**日本側** 愛知 和男【実行委員長】

嶋崎 郁【名誉顧問】

柏 頼之【理事】

小谷野 悦光【株式会社日本旅行 代表取締役専務取締役・理事代行】

若林 幸宏【事務局長】

**チェコ側** Jan Wolf【理事】

Petr Slepicka【理事】

11月19日当日は10:00より展示・実演会場がオープンし、リボンカッティングセレモニーが始まる前には会場内の通路もプラハ市民の皆様で埋まるような盛況ぶりの中で、セレモニーが始まった。両国の実行委員会出席者紹介後、ヤン・ヴォルフプラハ市参事、次に嶋崎郁特命全権大使、最後に愛知和男会長よりスピーチが行われた。リボンカット終了後、再びプラハ市民に展示・実演を楽しんでいただいた。



# 茶道実演

Tea ceremony demonstration



## 煎茶道静風流

11月19日(日)



1回約30席で全8回の実演を行った。初日の日曜日で、立ち見が出る回も多くあった。実際にステージに上がってもらってお点前の体験は希望者も多く、頑張ってお座にも挑戦していた。お点前披露後の質疑応答では、お茶だけでなく、掛け軸や着物についての質問もあり、丁寧にお答えいただいた。

## 茶道グループ 泉

11月19日(日)



7回の実演を行った。観覧者の中から2名をステージにお招きし、一つ一つ動作を解説しながらお点前を体験いただいた。お点前後は観覧者から多くの質問が上がり、茶道の歴史や精神について詳しく解説をいただいた。

## 表千家茶道花乃会教室

11月20日(月)



1回約25席で、予備の2回も含めて全10回の実演を行った。ステージ上での体験では、小さなお子様もお母様と一緒にチャレンジしていた。質疑応答も盛り上がったが、さらにその後のお写真の希望が多く、お待ちのお客様が途切れない様子であった。

## 楽知会

11月21日(火)



1回約30席で、全6回の実演を行った。午後はお客が増え、立ち見が出る回もあった。お茶はもちろんだが、お持ちいただいた干し柿と柚子を使ったお菓子がプラハのお客様にも大変好評な様子だった。

## 松和会

11月22日(水)



1回約30席で、全7回の実演を行った。男女織り交ぜ多くの皆様でご参加、生け花の展示も行ない、たくさんのお客様にご覧いただいた。折り紙のお土産もご用意いただき、お客様も大変喜んでいました。

## 草遊会

11月23日(木)



1回約30席で、全5回の実演と、2回のワークショップを行った。ワークショップは予約の方以外にも希望者が多く、時間の許す限りご対応いただいた。ステージでの体験やお席で味わっていただいたお茶ももちろん喜ばれたが、御自身で点てたお茶は格別のものであった。通常の実演でも、質疑応答、写真撮影など多数希望があった。

## 坂本七海男鉛筆画 鉛遊くらぶ



人物や風景などの鉛筆画作品 22 点を出展した。非常に繊細な画法に、一見すると写真と見間違ふ来場者もいたほどだった。多くの来場者が熱心に鑑賞しており、鉛筆画ということに驚きと感嘆の声がたくさん聞かれた。

## 総合カレッジ SEO



生け花、茶道、着付け、食の4分野において展示・実演を行った。食の分野では、手作りの巻き寿司やいなり寿司を提供し、絶えず人だかりができるほど大人気であった。一度に色々な日本文化に触れることができ、来場者は喜んでいた。

## 岩橋知子押し花教室



押し花作品を 9 点展示した。様々な花を用いて見事な風景を作り出している作品に、多くの方が足を止め熱心に鑑賞していた。来場者からの感想を記録したノートにも「素晴らしい」や「美しい」などの賞賛コメントが多数記載されていた。

## 日旅連 九州連合会



九州エリアの観光地や文化を紹介するパネル展示や DVD による九州紹介の映像放映を行っていた。さらに女将による浴衣の着付けは大人気であり、体験した来場者はみんな嬉しそうに写真を撮り合ったりしていた。

## 一般社団法人 日本ダイバーシティアート学会



全盲の人も含め全ての人が鑑賞できる砂絵の絵画「マリス」の展示を行った。目で見ただけでなく触れて鑑賞することのできる作品に、多くの方が興味を示し真剣に作品を見たり、話を聞いていた。実際に作品を作るワークショップは大人子どもに関わらず非常に人気であった。

## 有限会社ネイルズエイチツー



日本のネイルアート文化の紹介として、指 1 本にネイルアートを施すワークショップを実施していた。女性に大人気でオープン時から体験希望者が途切れることがなかった。体験者も皆喜んでおり素敵な文化交流となっていた。

## 専門学校 ルネサンス・デザイン アカデミー



イラストレーション科&プロマンガ科の学生が参加し、日本のアニメやマンガ等のポップカルチャー文化の紹介を実施。ワークショップでは似顔絵をプレゼントしたり、オリジナルの缶バッジ制作を体験できるコーナーを設け来場者と楽しく交流していた。

## 和紙ちぎり絵 鈴美会



風景や花、ちぎり絵の額物作品や短冊などを多数出展した。実演で実際にちぎり絵の制作過程を披露したり、折紙を折ったり、常に人だかりで休む間もないほど来場者が訪れていた。

## クロシェットローズ



ひな祭りに飾るひな人形や端午の節句の兜など行事にまつわる陶磁器などを出展した。また、福笑いや羽子板など日本の遊びも紹介し、来場者も皆楽しんでた。特に羽子板は子供たちに大人気で会場内で羽子板を楽しむ姿がよく見られた。

## DEJIMA33 会



青竹を器にした生け花展示はインパクトも強く、見た目もとても華やかで多くの方が写真に収める姿が見られた。テーマに応じ様々な生け方を紹介する実演も人気で、たくさんの方に日本の生け花文化に触れていただいた。

## 伊那市そば打ち名人会(伊那信州そば振興会)



今回「信州そば」を紹介し、人だかりが途絶えることがないほど大人気であった。そばの試食だけでなく手打ちそばのデモンストレーションも実施し、普段触れることのできない貴重な文化体験の場となっていた。

## 株式会社 南部美人



岩手の地酒「南部美人」を紹介し、試飲サンプリングを行った。プラハでも日本酒は人気のようで連日多くの方が試飲され、日本酒の美味しさを堪能していた。準備していた日本酒が全てなくなるほど大好評だった。

## 千寿



浮世絵を中心とした作品や古来よりの伝統文化をモチーフとした軸物などの刺繍作品を多数展示した。きめ細やかな技法に驚く来場者も多く、日本の美を楽しんでいる様子が見られた。

## アトリエ双香



現地の生け花チームとコラボレーションした生け花作品を展示した。中には高さ1.5メートルを超える大作もあり、多くの方が写真に収めていた。また、生け花の過程を学べるデモンストレーションは毎回大変人気で拍手喝采であった。

## 福井おむすび同好会



福井県産のお米や食材を使用し「おむすび」を提供した。へしこや梅干し等、日本ならではの具材を使用した「おむすび」は大好評で、作るたびに来場者がおいしそうに試食しすぐになくなった。

## 水引の音色



水引を活用したアクセサリーや小物などの展示作品は、見た目も華やかでかわいらしく、たくさんの来場者が興味を持っていた。小物を作るワークショップは常に人だかりで連日会場に来て熱心に作品を作る来場者もあり、和の魅力を堪能しながら楽しそうに参加していた。

## 名西文化服装学院



オリジナル着物「貴都流(キドル)」をはじめ、多くのオリジナルの衣装や小物を展示した。着付け体験や裁縫のワークショップは順番待ちが出るほどの人気だった。着物を着て一緒に写真を撮ったり、大変盛り上がっていてとても楽しそうな交流となっていた。

## 赤坂なでしこ会



日本の伝統工芸の“木目込み人形”で作られた「ひな人形」などを展示した。日本独特の技法であり、プラハの方々も非常に興味を持った様子で熱心に鑑賞していた。「手まり」を作るワークショップでは、教えてもらいながらも皆楽しそうに一生涯懸命取り組んでいた。

## 大川春雪



草月流の生け花展示とワークショップを行った。実際に生け花を生けるワークショップでは、生け花の魅力を丁寧に説明しながら実践し、実演参加者も真剣な表情で聞き入っている姿が見られた。

## 株式会社 ポプラ社



日本の昔話や人気の絵本を多数展示した。日本の良質な絵本はプラハの方達にも非常に人気で、特に子供連れで来られたお母さんたちに大好評であった。会場内で読み聞かせをしている親子の姿も多く見られた。

## 白瀧酒造 株式会社



日本でも親しまれている「上善如水」を中心に日本酒の紹介をした。「上善如水」においては精米歩合の説明と一緒に吟醸・大吟醸などを飲み比べることができ、来場者も勉強しながらその違いを楽しんでいた。

## 熊本県立大学 国際倶楽部



書道や折り紙などを通じプラハの方たちに日本文化を紹介した。書道体験では来場者の方々の名前や好きな言葉を漢字で書き、プレゼントしていた。絶えず体験者が訪れ人だかりとなっており非常に人気であった。

## 松山大学書道部「南風会」



古典や四字熟語などを様々なアプローチで表現した書道作品を展示した。来場者に書道を体験してもらおうワークショップも行いたくさんの方と交流をされていた。

## 名古屋を考える美術家の会代表



墨と和紙を使って妖怪を描いた屏風仕立の作品を展示した。妖怪は日本独特の文化ということもあり、プラハの方も非常に興味深く鑑賞されていた。

## 北西酒造 株式会社



「文楽」をはじめ郷土ならではの特徴を持つ地酒を多数紹介した。海外では飲むことのできない銘柄もあり来場者には大好評で日本酒文化を堪能しつつ様々なお酒を楽しんでいた。

## 日本伝統文化学院 花の会



生け花作品を2点展示した。生け花体験のワークショップは、参加者が自ら生けた生け花をそのまま持って帰ることができ非常に好評だった。

## 岩間 義尚



「金継ぎ」文化の紹介として、自身が「金継ぎ」で修復された作品の展示、実際に「金継ぎ」の過程を学びながら自ら修復作業をするワークショップを行った。日本の伝統技法に興味を示す来場者も多く、ワークショップに連日通い修復作業を体験される方もいた。

## ノ口燐



東北3・11や福島原発事故等をテーマとした鎮魂作1点を出展した。来場者からは、素晴らしいという声がたくさん聞かれ、作品の前から動かず長い間熱心に鑑賞する来場者も多くいた。

## 株式会社 ホビージャパン



漫画家によるライブドローイングやトークショー、アニメイラストの展示、ホビージャパンが出版するマンガ技法書の展示を行った。連日、若者を中心に多くの方が訪れ、最終日のアニメイラストや書籍のプレゼントは希望者が殺到するほどの大人気であった。

## アトリエ パッチワーク



手作りのわら細工の工芸作品を多数出展した。わらを編んで作品を作るワークショップでは、長時間にも関わらず参加者は一生懸命、手本を見ながらなべ敷き作りを体験していた。

## 長岡市



新潟県長岡市で有名な「錦鯉」をメインテーマとし、新潟県の地域プロモーションとしてパンフレットを展示・配布した。最終日には全てのパンフレットが無くなるほどの人気であった。

## 人形劇団くりきんとん



2回の公演を行った。日本語での公演であったが、来場者に事前にあらすじを配り、コミカルな人形の動きと音楽で、現地の方にも大変楽しんでいただけた。終了後には、人形との撮影会を行った。

## 越後の女・ふたり語り



2回の公演を行った。芥川龍之介『蜘蛛の糸』の朗読のあと、ダンスや歌も披露し、来場者もとても盛り上がった。終了後は、折り紙のコマ等をお土産としてお渡しし、大変好評であった。

## 株式会社アートクロス



日時 11月19日(日)～23日(木)

場所 プラハコンgresセンター内 テラス1&2

株式会社アートクロスはプラハコンgresセンター内 テラス1&2にて「Japan Art Festival in Prague 2017」を開催した。151点の日本美術の作品は6部門に分かれて展示された。展示期間中多数の市民にご来場いただいたが、複数回ご来場いただいた市民の方々もおり、プラハにおける日本文化への関心の高さを感じた。



# 交流プログラム

Exchange program



訪問交流プログラムの学校訪問については12団体、老人ホーム訪問については3団体、テーマ別訪問については3団体が参加し、各団体ともに心がふれあう交流を行った。

## 名西文化服装学院



学校

日時 11月20日(月) 10:00～12:00

施設名 Vyšší odborná škola oděvního návrhářství a střední průmyslová škola oděvní

交流場所 学校内教室

交流対象 学校生徒(15才～18才) 45名

名西文化服装学院はオリジナル着物の説明をして着物を生徒にご覧になっていただいた。その後、衣服の上から生徒に交代で着物を着ていただいて、「着物」という日本文化に触れていただいた。普段、洋服のデザインなどを勉強している生徒にとってとても興味深い体験となった。

## xiè



学校

日時 11月20日(月) 10:00～12:00

施設名 Základní škola S Rozšířenou Výukou Jazyků

交流場所 学校内音楽教室

交流対象 音楽を中心に勉強している生徒(15才) 60名

最初に生徒に学校内を案内していただいた。そして詩吟の説明とパフォーマンスを行った。生徒には詩吟の発声練習(ヴォイストレーニング)を体験していただいた。パフォーマンスおよび発声練習は生徒にとって初めてのものでとても楽しそうであった。xièからは生徒にxièのご案内のリーフレットをお配りした。

## 岩手大学民俗芸能サークルばっけ



学校

日時 11月20日(月) 9:00～10:50

施設名 Malostranská Základní Škola

交流場所 学校内体育館

交流対象 生徒(11才～13才) 55名

挨拶のあと、岩手大学民俗芸能サークルばっけはパフォーマンスを披露した。その後日本、岩手の民族芸能について簡単な説明をした。それから質疑応答に入り、さまざまな文化の違いについてやりとりした。そしてプラハの街並がきれに見える学校の屋上に案内していただき、記念写真を撮った。この訪問交流によって互いの文化を学ぶ良い機会となった。

## 太鼓衆 翔鼓



学校

日時 11月20日(月) 9:00～10:45

施設名 Základní škola náměstí Curieových

交流場所 学校内体育館

交流対象 生徒(7才～15才) 70名

交流会場で学校側との挨拶の後、太鼓衆 翔鼓は2曲を太鼓や笛、鐘で演奏した。曲の途中で小さな太鼓や鐘をチェコの学生にその場で渡して演奏に参加していただいた場面もあった。その後のワークショップでは交流参加者全員がその場で教えていただきながら太鼓の演奏を体験した。その後にも演奏を披露。最後には日本側からお土産を渡していた。生徒はもちろんのこと、先生方も本当に楽しそうに演奏を聴き、ワークショップに参加していた。

## 長沼静きもの学院熊谷校



学校

日時 11月20日(月) 10:30～12:00

施設名 Vyšší odborná škola oděvního návrhářství a střední průmyslová škola oděvní

交流場所 学校内教室

交流対象 生徒(15才～18才) 40名

長沼静きもの学院熊谷校のメンバーは、2名の生徒にフォーマルな婚礼用の着物を、3名の生徒にはインフォーマルなゆかたを、どのように着付けていくのか、伝統的な技法を説明しながら着ていただいた。生徒達は着物の素材、付属品などについて質問を投げかけて、長沼静きもの学院熊谷校のメンバーはそれらに答えていた。そして生徒達は顔を近づけて着物をよく見ながらその制作技法に驚いていた。生徒、先生共に彼らが毎日携わっている「衣料」として関連する、珍しい着物を間近に体験できたことにとっても幸せそうであった。

## 剣伎衆かむみ



学校

日時 11月21日(火) 9:00～11:30

施設名 Malostranská Základní Škola

交流場所 学校内体育館

交流対象 生徒(11才～16才) 60名

剣伎衆かむみはまず生徒達に剣道道の「型」を披露し、その後パフォーマンスを行った。その後生徒達にはパフォーマンス用の「刀」を使って「殺陣」を含めたワークショップを体験していただいた。生徒達は「異次元の世界」の日本の文化にとっても興奮していた。このプログラムには現地のテレビ局の取材も入った。

## TOKARA



学校

日時 11月21日(火) 10:00～11:30

施設名 Základní škola S Rozšířenou Výukou Jazyků

交流場所 学校内体育館

交流対象 生徒(11才) 70名

TOKARAは70名の生徒を前に演奏を披露し、太鼓や日本の音楽について説明を行った。生徒達には簡単な日本語も知っていただいた。また、ワークショップでは選抜された8名の生徒に太鼓の叩き方や簡単なリズムを教えていただいた。生徒たちはこの交流に大変盛り上がり、日本文化を体験できた喜びにあふれていた。

## 端唄花季会 北海道支部



学校

日時 11月21日(火) 9:00～10:45

施設名 Základní škola náměstí Curieových

交流場所 学校内音楽教室

交流対象 生徒(7才～15才) 75名

まず折り紙のワークショップを行い、「折鶴」を生徒達と一緒に作った。その間に三味線の調律が終わり、三味線の演奏をスタートした。三味線で「端唄」の演奏や日本の「童謡」メドレーを披露した。最後には踊りも交えた演奏を行った。

2回目の交流では、三味線による演奏をした後に折り紙のワークショップを実施した。生徒達は日本の文化に触れてとても有意義な時間を過ごした。

## REIKO &amp; NAOMI



学校

日時 11月22日(水) 9:00～10:45

施設名 Základní škola náměstí Curieových

交流場所 学校内音楽教室

交流対象 生徒(7才～11才) 60名

REIKO & NAOMI はまず「春の海」などの日本の曲をフルートとピアノで披露した。その後日本の「遊び歌」を演奏した。その中の童謡「かごめかごめ」で「遊び方」の見本を見せて生徒達にもやってみていただいた。また、チェコの童謡も演奏し、その「遊び」を生徒達は気に入って何度も繰り返した。またギターが加わってのアニメソングの演奏も楽しんでいただいた。生徒達は日本の伝統的な歌を聴くことができた貴重な体験となった。

## 巴栄会



学校

日時 11月22日(水) 10:00～12:30

施設名 Základní škola S Rozšířenou Výukou Jazyků

交流場所 学校内音楽教室

交流対象 生徒(10才～16才) 40名

巴栄会は、「さくらさくら」や「荒城の月」等日本の伝統的な歌だけでなく、現代の曲も演奏し、生徒達は聞き入っていた。アンコールでは、リクエストを受けて即興でユーモラスに演奏を披露し、生徒達は喜んでいた。その後のワークショップでは生まれて初めて触れる「琴」に彼らは大はしゃぎであった。

## 熊本県立大学 国際倶楽部



学校

日時 11月22日(水) 8:00～10:30

施設名 Malostranská Základní škola

交流場所 学校内図書館

交流対象 生徒(11才～13才) 25名

熊本県立大学 国際倶楽部は生徒達を前にはじめに太鼓のパフォーマンスを行った。そして生徒達にも太鼓を叩く体験をしていただいた。そして生徒や先生と共に折り紙のワークショップを楽しんだ。熊本県立大学 国際倶楽部のメンバーが生徒達の中に入り折り紙の工程を丁寧に教えながら、折り紙作品の完成を共に喜んだ。折り紙というとても身近なものでとても充実した交流時間を共にした。

## TOKARA



学校

日時 11月23日(木) 9:00～10:50

施設名 Fakultní základní škola Mezi školami

交流場所 学校内体育館

交流対象 生徒(13才～14才) 130名

TOKARAは1曲目の演奏を披露した後、3種類の和太鼓について説明をした。それぞれの違いについて覚えていただき、それぞれの叩き方、いろいろな奏法があることを実際に演奏して見せていただいた。その後、武道の動きを取り入れた踊りも含んだ叩き方をしながら2曲目を披露した。そして選ばれた生徒7人にはリズムに合わせて簡単なワークショップを体験していただき、見ていた生徒達も手拍子で参加し大いに盛り上がった。2回目の交流も同様の流れで生徒達に大変喜んでいただいた。最後は質疑応答や学校の報道部の生徒たちからのインタビューもあった。とてもすばらしい体験の機会であった。

## 師勝太鼓「鼓つつ」



老人ホーム

日時 11月17日(金) 14:00～15:30

施設名 Domov pro seniory Nová slunečnice

交流場所 老人ホーム内カルチャールーム

交流対象 100名

師勝太鼓「鼓つつ」のメンバーは言葉を使わないコミュニケーションが巧みで、太鼓の演奏を始めると一気に皆様の心をつかんだ。演奏後、皆様にできる範囲のワークショップをしていただいた。交流を互いに楽しんで、ご老人とハグをする場面も見受けられた。とても活気あふれる楽しいひとときであった。

## ヒロシ&amp;テー坊



老人ホーム

日時 11月20日(月) 14:00～15:30

施設名 Domov pro seniory Nová slunečnice

交流場所 老人ホーム内カルチャールーム

交流対象 60名

ヒロシ&テー坊は到着後、老人ホームのスタッフとお茶を飲みながら打ち合わせをした。そして皆様に前に日本の歌をギターで奏でながら披露した。皆様は、そのパフォーマンスをとっても楽しみ、アンコールをお願いした。パフォーマンス終了後、多くの「喝采」の言葉や、質問が相次いだ。

## 松山大学邦楽部



老人ホーム

日 時 11月22日(水) 12:20～17:00

施設名 Domov pro seniory Nová slunečnice

交流場所 老人ホーム内カルチャールーム

交流対象 70名

松山大学邦楽部の2人は皆様にじっくりと「箏」の美しい音色を楽しんでいただくように、ゆったりと演奏パフォーマンスを2回行った。間近で生演奏で奏でる箏演奏にとっても楽しんでいるようであった。日本の音楽を楽しむとても貴重な時間となった。

## あさひ舞いライブセラピージャパン



学校

日 時 11月21日(火) 15:00～17:30

施設名 Fakulta tělesné výchovy a sportu Univerzity Karlovy

交流場所 大学レクチャーホール

交流対象 大学生40名

あさひ舞いライブセラピージャパンは「気」という生命活動を活発にする講義を行った。そして、そのための実践ワークショップも行った。大学生は不思議な「気」の世界にその時間没頭した。その講義、ワークショップ後に、「もしかしたら体調が少しよくなった」と述べる方々がいた。

## 一般社団法人 日本ダイバーシティアート学会



学校

日 時 11月20日(月) 11:30～15:00

施設名 Škola Jaroslava Ježka pro zrakově postižené

交流場所 学校内多目的ホール

交流対象 学校生徒(10才～15才及び19才・20才)15名

日本ダイバーシティアート学会の皆様はまず盲学校の先生方にお手伝いいただくために今回の交流プログラムの内容の流れを説明した。盲学校の生徒達はプログラムで使用する国旗にとっても熱心に興味を示した。そして日本ダイバーシティアート学会の代表者に作品についてさまざまな質問を投げかけていた。国旗の作品を完成させるワークショップを含めた交流プログラムはとてもなごやかな雰囲気が進められた。

## 剣伎衆かむゐ



学校

日 時 11月20日(月) 14:15～18:00

施設名 Fakulta tělesné výchovy a sportu Univerzity Karlovy

交流場所 大学レクチャーホール

交流対象 大学生60名

剣伎衆かむゐは大学生に剣道や侍の精神について講義を行った。その後、ワークショップを行い、刀を使用する「型」や、振り付けをして立ち回りのポイントやコミュニケーションの極意を教えた。とても充実した講義とワークショップの時間であった。

# 西日本友好親善訪問団 交流プログラム

## プラハ市交通局（車両基地）訪問とクラシックトラム貸切乗車

日時 11月18日(土)・24日(金)

場所 プラハ市交通局訪問&クラシックトラム貸切乗車



プラハに到着した翌日は、ホテルを出発してプラハ市交通局の車両基地兼交通博物館を訪問した。車両基地ではプラハ市交通局代表者から歓迎の挨拶とプラハ市のトラムの説明を受けた後、トラム出発にあたり、プラハ市交通局代表者と各グループの団長によるリボンカットセレモニーを開催。その後参加者は今回のジャパンウィーク用にチャーターしたクラシックトラムに乗車し、ガイドの案内とともに車窓から見える世界遺産の美しい風景を見ながら約40分間トラムの旅を楽しんだ。プラハ城の前でトラムを降りた後は、日本語ガイドの案内のもとプラハ市内観光となり、「プラハ城」、「カレル橋」、世界遺産に登録されている「旧市街」など主な見どころを徒歩にて見学し、参加者はプラハの美しい町並みに感銘を受けた。

## 編集後記

この度のジャパンウィーク開催にあたり、御協力いただきました在チェコ日本国大使館の皆様、昼夜を問わず1年以上前から準備・運営に携わっていただいた現地コーディネーター、ボランティアの皆様なくては無事終了することはできませんでした。ここに深く感謝申し上げます。

今後も真摯に相互理解・異文化交流の輪を広げて、世界が心一つになれるよう、ジャパンウィークを通じ貢献できれば幸いです。今後とも皆様の御支援、御協力を引き続きお願い申し上げます。

## プラハナイト

日時 11月18日(土)・24日(金)

場所 市民会館・スメタナホール

今回ご参加いただいた西日本友好親善訪問団の参加者に感謝の意を表するとともに、地元とのより一層の親善交流を図るため、「プラハの春」音楽祭のメイン会場であり、由緒ある音楽ホール「市民会館・スメタナホール」にて夕食会「プラハナイト」を開催。

開会に先立ち、プラハで音楽活動をされている皆様によるミニコンサートを開催。参加者はプラハを代表する音楽ホールにて、チェコが生んだ偉大な作曲家ドヴォルザークやスメタナの曲を楽しんだ。

ミニコンサートの後、日本側は18日が小谷野悦光氏/株式会社日本旅行代表取締役専務取締役、24日が岡本隆氏/株式会社日本旅行取締役兼執行役員西日本営業本部長、現地側は18日がトミオ・オカムラ氏/チェコ共和国下院議員、嶋崎 郁氏/在チェコ日本国特命全権大使、24日がトミオ・オカムラ氏/チェコ共和国下院議員、モニカ・バラートコヴァ氏/チェコ政府観光局長のご挨拶でプラハナイトが開始。

参加者の皆様にチェコ創作料理をご堪能いただく一方、食事の合間には弦楽器とツインバロンというチェコを代表する打楽器での演奏と、子供達はその民族音楽に合わせてコミカルなダンスを披露し、会場の雰囲気盛り上げた。そしてこの夕食会は盛況のうちにおひらきの時間となり、来年の開催地イタリア、トリノの案内とともに終了した。





助 成



公益財団法人 双日国際交流財団

主 催



公益財団法人 国際親善協会

〒112-0003 東京都文京区春日2-10-15 志知ビル4階  
TEL: 03-5802-0351 FAX: 03-5802-0353  
E-mail info@iffjapan.or.jp  
URL <http://www.iffjapan.or.jp>